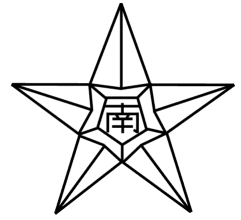


南山だより



東京都港区元麻布3-8-15 TEL03(3403)5773 FAX03(3408)4532 MAIL:nanzan-es@minato-tky.ed.jp

運動会を終えて、思うところ

校長 今村 剛司

長いと思っていた二学期も折り返しを迎えようとしています。先日行われた運動会には多くの保護者、地域の皆さまにご来校、応援をいただきありがとうございました。各学年とも短距離走、学年種目、表現とそれぞれに練習の成果を発揮してくれました。特に表現は振り付けを覚えて、みんなで動きを合わせるのに苦労していました。それだけに本番では子どもたちの思いが詰まった素晴らしい発表でした。また、運動会実行委員や応援団、リレーの選手などは、朝練習や放課後練習、昼練習を続けて運動会の成功に貢献してくれました。暑い日もあり、みんな大変だったとは思いますが、南山小らしい素敵な運動会になりました。改めて、支えていただいた保護者、地域の皆さまに感謝申し上げます。

先日、来年度の新一年生の保護者を対象とした学校説明会を行いました。南山小学校についての説明をしたのですが、その中で来年度から港区内の全小学校で導入される「プレクラス」についてもお話ししました。「プレクラス」とは新一年生を対象として四月の一か月間を「プレクラス（仮の学級）」で生活し、五月から改めて正式なクラス分けをするというものです。これまで、白金小学校と赤坂小学校で導入されていましたが、区内全小学校での実施は全国でも初めてとなります。

今回の「プレクラス」もそうですが、これまでも外国語活動、コロナ禍でのタブレット導入など、学校でも次々と変化は起こっています。また、「〇〇教育」として学校で行うものも増えています。（金融教育・消費者教育・プログラミング教育、などなど）それらは求められているのですが、新しいことに目を奪われて、日々の授業や生活指導など、これまで連綿と紡がれてきたことが疎かになっていないか。正直、不安が拭えません。時に立ち止まって、学校での教育活動全体の中での位置付けを見つめ直すことも必要ではないかと感じます。

最近、「不正解は無意味を意味しない。」という言葉を聞きました。ある個人にとっては不正解ではあっても、別の視点、全体としては意味があるというニュアンスで使われていたと思います。この言葉は、効率良く正解することを求めすぎているか、逆に言えば不正解、正解ではないことも許容できているか、自分自身に問いかけられた気がしました。（もちろん限度はありますが。）そもそも子ども達の成長にとって、正解、不正解では測れないものもたくさんありますし、その答えに至るまでの過程や時間、意欲、好奇心も大切なはずです。

そしてもう一つ、「正解を集めても、全体として正解になるとは限らない。」ことに繋がるのではないかと感じます。その部分だけ見れば正解ではあるけれど、全体としては環境や条件が整わずに上手くいかないこともあります。まるでパズルのピースが一見すると嵌っていても、全体は歪んでしまうように。

小学校では、正解ではないこともある程度は許容できるように、個々と全体のバランスを見られるように、我々自身も意識していきたいと思っています。そのためには、時間的、精神的な余白をつくれるようにしなければと思っています。

運動会は終わりましたが、12月には展覧会が控えています。こちらも計画的に準備を進めていますので、ぜひ楽しみにしてください。いつも温かな応援をいただき、感謝いたします。

令和6年度 運動会について

運動会担当

10月19日(土)に運動会を実施することができました。今年度のスローガンは「咲きほこれ みんなが主役だ Go 南山」でした。

表現では各学年、練習してきた成果を発揮しようと友達と息を合わせて動いたり、踊ったりしている姿が印象的でした。短距離走ではゴールまで一生懸命に走りきる姿や走り終わった後、一緒に走った友達と笑顔で話す姿がたくさん見られました。

5、6年生は自分たちの学年の競技だけではなく、係活動にも取り組み、今年度の運動会を支えてくれました。競技と係活動を両立し、学校全体のために活動し、やり遂げた5、6年生の姿はとて立派でした。

どの場面でも、子供たちの笑顔が咲きほこり、みんなが主役になった運動会でした。運動会までの期間、ご家庭でのご協力をありがとうございました。これからも元気あふれる南山の子供たちを温かく見守っていただければと思います。



GIGA スクール構想

情報担当

GIGA スクール構想は令和元年に開始され、本校でも児童が一人一台端末を活用し、学習することが当たり前となってきました。そもそも GIGA スクール構想とは、一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現するということを目的としています。多様な子供たち一人一人に合った学習の仕方を実現できるのが ICT 機器なのです。一方でノートを使った学習が個別最適化に適していないかというところというわけではありません。子供の実態、授業の内容によってノートの方が適している場合もあります。つまり ICT を使うか、ノートを使うかも子供たちが選択し、学習を自分の力で進めていくということがこれから求められる資質・能力であると言えます。

今後、自由進捗学習も取り入れられていき、子供が自分で学習の内容・方法を選択するという力がより一層求められていきます。自分で選択するためには多くの選択肢をもっていなければなりません。今後も様々な学習方法を教えていき、子供たちが自分で学習の方法・内容を選択できる力の育成に取り組んでいきます。

11月行事予定

5日(火)	委員会活動	13日(水)	水曜時程 5時間授業
	教材費・PTA 会費引き落とし	14日(木)	就学時検診 4時間授業
6日(水)	4時間授業	20日(水)	研究授業 4年生のみ 5時間
7日(木)	5年生社会科見学 5年生以外 4時間授業	21日(木)	4年生社会科見学 給食試食会
8日(金)	避難訓練		学校保健委員会 PTA 役員会
11日(月)	水曜時程	27日(水)	クラブ活動

11月生活目標

正しいことばづかいをしよう <ふれあい月間>